

事業NO. 701	事業名	導水管の取り替えによる耐震性の向上	(重点管理事業)	水道部
-----------	-----	-------------------	----------	-----

評価対象 事業名	導水管の取り替えによる耐震性の向上				部課名	水道部 工務課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部 第3・3-(1)-	係名	工務係	内線	3436				
計画事業名	経年管の解消				受託水道事業特別会計	事項	3.浄水事業費					
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則				補助区分	国	都	市単独				
目的	事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入 現在、水源井から浄水所まで原水を運ぶ導水管には、耐震強度の劣る石綿セメント製の管が使用されているが、震災時等における飲料水の安定確保を図るため、より強度の高いダクタイル鋳鉄製導水管への取り替えを進める。											
概要	導水管については、平成17年度当初、全体延長23,490mに対して石綿セメント製導水管は約20,500mが存在している。この耐震強度の劣る石綿セメント製導水管をより強度の高いダクタイル鋳鉄製導水管への取り替えを進め本年度末までに、使用する導水管の石綿セメント製導水管残存率を0%(休止管を除く)とする。											
始期	17	年度から	終期	19	年度まで	当該事務に従事する実職員数	3.0人		または	時間		
今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入) 事業の進捗については、道路管理者・交通管理者及び他企業とも速やかに協議し事業を実施する。 また、井戸の統廃合にあわせて一部の導水管を休止管とし約5,116.6mを平成20年度以降順次撤去を実施する。												
今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明 計画延長を5,510mとする。												
今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明 計画事業を100%実施し、石綿セメント製導水管の残存率を0%(休止管を除く)とする。												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)												
年度別明細	H17年度	H18年度	H19年度目標		H19年度達成							
活動指標 (事業・活動の内容・量)	実施延長 4,199m	実施延長 5,669.6m	計画延長 5,510m		実施延長 5,322.6m							
まちづくり 指標(成果 指標) 行政指標 協働指標	残存率71.3%	残存率46.3%	残存率0.0% (休止管を除く。)		残存率0.0% (休止管を除く。)							
予算額(千円)	295,515	446,160	553,320		496,905							
決算額(千円)	291,348	413,859			469,584							
執行率(%)	98.6%	92.8%			94.5%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	← 設計・施工時期 →											
結果	← 設計・施工時期 →											
当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)												

事業NO.	701	事業名	導水管の取り替えによる耐震性の向上	(重点管理事業)	水道部
-------	-----	-----	-------------------	----------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
浄水所内の布設替えや水源井の堀替えに合わせて、ルートの変更があったが、順調に工事を進めている。一部関係者との調整に時間を費やしており、現在、工事の実施に向けて調整中である。 本年度の工事が完了すると、休止管5,117mを残し石綿セメント製導水管の残存率は、0%となる見込みである。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
成果面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について <input type="checkbox"/> 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	
評価	<input type="checkbox"/> - 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	

〈事業の事後評価〉

主 管 課 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	<input type="checkbox"/> 1	1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた			
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	<input type="checkbox"/> 1	1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし			
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	<input type="checkbox"/> 2	1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低			
総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針						
導水管の布設替えの延長は、当初予定よりも減となったが、これは、より効率的なルートの見直しを行ったことによるもので、撤去予定の休止管を除き、使用されている石綿セメント製導水管の残存率は、0%となり、目標を達成することができた。						
審 査 会 評 価	進捗状況評価	<input type="checkbox"/> 1	成果に対する評価	<input type="checkbox"/> 1	効率性・経済性に対する評価	<input type="checkbox"/> 2
(特記意見)						

事業NO. 702	事業名	経年管(配水管)取替による耐震性の向上	(重点管理事業)	水道部
-----------	-----	---------------------	----------	-----

評価対象事業名	経年管(配水管)取替による耐震性の向上				部課名	水道部 工務課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部 第3・3 - (1) -	係名	工務係	内線	3436				
計画事業名	経年管の解消				歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	2.配水費	
関連計画	水道法・東京都水道条例・同条例施行規則				受託水道事業特別会計	事項	3.配水事業費					
事業の目的・概要	<p>目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入</p> <p>現在、飲料水を配水する配水管の一部に強度の劣る普通鋳鉄製配水管が布設されているが、震災時に飲料水を確保するため、より強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に管種変更を進める。</p> <p>配水管は、全体延長319,200mに対し耐震強度の劣る昭和47年以前に布設された普通鋳鉄製配水管は平成17年度当初、約31,930mが存在している。この普通鋳鉄製配水管を、より強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管へ布設替える。</p>											
開始	17	年度から	終期	23	年度まで	当該事務に従事する実職員数	1.5人 または 時間					
今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて、継続事業の場合記入)	<p>事業の進捗については、道路管理者・交通管理者及び他企業とも速やかに協議し事業を実施する。</p> <p>また、本年度は多摩水道改革推進本部の直轄工事で配水小管(経年管)1,770mの布設替えを行う予定であり、市実施工事と合わせ残存率は6.0%となる見込みである。</p>											
今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明	計画延長2,410m											
今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明	計画事業を100%実施し、経年管の残存率を6.0%(都施工分1,770mを含む)する。											
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)												
年度別明細	H17年度	H18年度	H19年度目標		H19年度達成							
活動指標(事業・活動の内容・量)	実施延長 4,249m	実施延長 3,899m	計画延長 2,410m		実施延長 2,798.3m							
まちづくり指標(成果指標) 行政指標 協働指標	残存率8.6%	残存率7.4%	残存率6.0% (都施工分1,770mを含む)		残存率6.1% (都施工分873.2mを含む)							
予算額(千円)	492,271	438,510	347,330		329,330							
決算額(千円)	465,812	436,495			328,648							
執行率(%)	94.6%	99.5%			99.8%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				設計・施工時期								
							設計等次年度準備期間					
結果				設計・施工時期								
							設計等次年度準備期間					
当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)												

事業NO.	702	事業名	経年管(配水管)取替による耐震性の向上	(重点管理事業)	水道部
-------	-----	-----	---------------------	----------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
経年管(配水管)については、幹線道路に多く埋設されているため、道路管理者や他企業との工事調整により3か所の施工箇所の変更が生じた。次年度については、関係機関との調整に早くから着手し、工事への理解を求めて、計画どおりの事業執行を進めていく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 次年度は工事延長の増加が見込まれるため、コスト面は増加となる。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 次年度は計画延長が1.5倍程度増加となる。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については委託済みである。なお、今後の課題として、監督業務委託について東京都と協議していきたい。
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見) 重点的に取り組む課題とする。	

〈事業の事後評価〉

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1	1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた			
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	1	1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし			
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2	1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低			
主管課評価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 都道の道路工事の中止等により施工箇所に変更が生じたが、路線を振替えることによって当初予定を上回った延長を施工でき、工期が若干延長したもののおおむね順調に工事を進めることができた。 東京都水道局の直轄工事施工の経年管取替えについては、一部工事期間が延長となり平成20年度への繰越となったことから、目標残存率6.0%が6.1%となった。					
審査会評価	進捗状況評価	1	成果に対する評価	1	効率性・経済性に対する評価	2
(特記意見)						

事業NO. 703	事業名	水源井の掘り替えによる揚水量の確保①	《重点管理事業》	水道部
-----------	-----	--------------------	----------	-----

評価対象事業名	水源井の掘り替えによる揚水量の確保				部課名	水道部 工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部 第3・1-(1)-1-①	係名	配水係	内線	3441		
計画事業名	深井戸の適正な維持管理				歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	1.原浄水施設費
関連計画					受託水道事業特別会計	事項	1. 原浄水施設事業費				
					補助区分	国	都	○	市	単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入
 さく井後34年から42年が経過し、ケーシングの劣化によるスクリーン(集水口)の一部崩壊並びに経年による目詰まり等から揚水水位、揚水量が低下してきているため、集水面積を増やした新規さく井による増量揚水を図りながら、揚水量の乏しい水源井を数本単位でまとめて廃井し、管理する水源井の数を減らしながら従前の揚水量を確保していく。

概要 老朽化が進む市内39か所の水源井の中から掘り替えが可能な敷地面積を有する水源を選出し、その井戸を中心に1km前後の範囲で2~3本まとめてグループ化し、従前の揚水量を基本に新たにさく井した井戸の揚水能力を見極めながら統廃合を実施していく。

始期 18 年度から 終期 19 年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.0 人 または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて、継続事業の場合記入)
 平成18年度にさく井した井戸については、揚水能力等の経過を踏まえ、統廃合を実施していく。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明
 三鷹新川3号水源、三鷹新川7号水源、三鷹北野8号水源(3か所)
 (1)さく井(Φ350mm、深さ200m)・・・3か所
 (2)水中ポンプモータ、ケーブル(30kw、3相×200V×30mm2)・・・2か所
 (3)水中ポンプモータ、ケーブル(30kw、3相×400V×8mm2)・・・1か所
 (4)操作用配電盤設置・・・3か所
 (5)既存水源井埋め戻し等・・・3か所

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
 自己水源水と都補給水との現状割合(おおむね6割対4割)を維持するため掘り替え工事を行い、既存水源井の現状水位以上の回復による安定揚水を図る。掘り替え対象とする水源井1本における1時間あたりの揚水量は、現状では30~40m³であるが、掘り替えにより最大80m³の揚水が可能となることを目標とする。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H17年度	H18年度	H19年度目標	H19年度達成
活動指標(事業・活動の内容・量)		計画水源 井口1号水源 上連雀3号水源	計画水源 三鷹新川3号水源 三鷹新川7号水源 三鷹北野8号水源	実施水源 三鷹新川3号水源 三鷹新川7号水源 三鷹北野8号水源
まちづくり指標(成果指標) ①行政指標 ②協働指標		①水源井一本あたり80m ³ /時間(掘り替え前10m ³ /時間)の最大揚水量を得た。	①一本あたりの水源井における現状30m ³ /時間の揚水量を最大80m ³ /時間にす。	①一本あたりの水源井において、80m ³ /時間の予定揚水量の確保が可能であることを確認した。
予算額(千円)		115,591	225,710	222,513
決算額(千円)		112,434		218,295
執行率(%)		97.3%		98.1%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	← 三鷹新川3号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											
	← 三鷹北野8号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											
	← 三鷹新川7号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											
結果	← 三鷹新川3号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											
	← 三鷹北野8号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											
	← 三鷹新川7号水源掘替工事(水中ポンプ等設置含む) →											

当初計画変更の内容・理由等 (進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.	703	事業名	水源井の掘り替えによる揚水量の確保②	《重点管理事業》	水道部
-------	-----	-----	--------------------	----------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
今年度の1か所目である三鷹新川3号水源は、現在順調に掘削が進んでおり、他の2か所についても着工済みであり、遅滞ない施工管理をしていく。また、掘り替え後の揚水量を踏まえながら、水源井の統廃合を進める。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
成果面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について <input type="checkbox"/> 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	
評価	<input type="checkbox"/> 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	

〈事業の事後評価〉

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	<input type="checkbox"/> 1	1当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2若干遅れた・3大きく遅れた			
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	<input type="checkbox"/> 1	1大(目標の指標等を達成)・2中・3小又はなし			
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	<input type="checkbox"/> 2	1高(特別の成果あり)・2中・3低			
	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	平成18年度の施工経験を生かし、井戸の仕上がりと工事期間の短縮を目的に、パーカッション式掘削機を選定したことで、ほぼ計画どおりの施工内容、期間で、さく井工事を実施することができた。成果については、予定量の砂充てんにより、砂の流入も少なく自然水位、揚水水位が旧井戸より大幅に上昇し、安定揚水量が見込めるので、1年間の経過を見ながら当初の計画どおりに井戸の統廃合を実施する。平成20年度においては、2か所の水源井で更生工事等を実施する。				
審査会評価	進捗状況評価	<input type="checkbox"/> 1	成果に対する評価	<input type="checkbox"/> 1	効率性・経済性に対する評価	<input type="checkbox"/> 2
(特記意見)						

事業NO. 704	事業名	配水管の新設による配水管網の整備	部内管理事業	水道部
-----------	-----	------------------	--------	-----

評価対象事業名	配水管の新設による配水管網の整備				部課名	水道部 工務課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部 第3・1-(3)-	係名	工務係	内線	3436				
計画事業名	配水管網の整備				歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	2.配水施設費	
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則				受託水道事業特別会計	事項	3.配水施設事業費					
事業の目的・概要	事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入 市民のために、より効率的な配水管網整備を目的とし、配水管の新設工事を実施する。											
目的	経年管布設替工事やその他の水道工事にあわせ、隣接した公道や私道に配水管を布設しループ化を進める。 また、都市計画事業等の推捗に合わせ配水管の新設工事を実施する。											
概要	経年管布設替工事やその他の水道工事にあわせ、隣接した公道や私道に配水管を布設しループ化を進める。 また、都市計画事業等の推捗に合わせ配水管の新設工事を実施する。											
初期	単年度	年度から	終期	年度まで	当該事務に従事する実職員数	3.0人		または	時間			
今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)	前年度に引き続き、事業の効率化と市民サービスの向上に向け配水管網の整備を進める。											
今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明	計画延長を4,880mとする。											
今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明	より効率的な配水管網の整備で年間計画100%を目指し、市民サービスの向上を図る。											
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)												
年度別明細	H17年度	H18年度	H19年度目標		H19年度達成							
活動指標(事業・活動の内容・量)	実施延長 2,406m	実施延長 2,334.2m	計画延長 4,880m		実績延長 4,996.8m							
まちづくり指標(成果指標) 行政指標 協働指標	より効率的な配水管網の整備が図られた。	より効率的な配水管網の整備が図られた。	年度計画の100%実施		より効率的な配水管網の整備が図られた。							
予算額(千円)	157,145	128,240	359,872		359,872							
決算額(千円)	152,779	126,455			350,296							
執行率(%)	97.2%	98.6%			97.3%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				設計・施工時期								
							設計等次年度準備期間					
結果				設計・施工時期								
							設計等次年度準備期間					
当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)												

事業NO.	704	事業名	配水管の新設による配水管網の整備	部内管理事業	水道部
-------	-----	-----	------------------	--------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
経年管等の布設替工事と運動して効率よく実施していくが、配水管のループ化を早期に実施するため、配水管未布設路線整備を道路管理者や私道の地権者と早めに協議し、実施していく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 幹線の夜間布設替工事が多くなるため、計画延長は減するが、コストとしては増加する。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 市内の主要幹線の整備が進み、成果も増加する。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については委託を実施しているが、監督業務委託について東京都と協議をしていきたい。
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見) 評価を踏まえ予算化に努める。	

〈事業の事後評価〉

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1	1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた				
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	1	1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし				
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2	1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低				
	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	配水管の新設は、配水管や導水管の布設替工事及び道路工事に付随して工事を実施しており、配水管布設替え箇所の変更などにより施工路線を変更したことで、当初予定を上回った延長を施工することができた。配水管布設替工事の工期延長や私道承諾の遅れにより若干工期が延長となったものの、順調に工事を進めることができ、給水管の整理や配水管のループ化により、効率的な管網整備をすることができた。 次年度についても、道路管理者や関係機関と十分な調整を図り計画的・効率的な事業を実施していく。					
審査会評価	進捗状況評価	1	成果に対する評価	1	効率性・経済性に対する評価	2	(特記意見)

事業NO. 705	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上	部内管理事業	水道部
-----------	-----	----------------------	--------	-----

評価対象事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上				部課名	水道部 工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部 3・3-(1)	係名	給水係	内線	3433			
計画事業名					歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	3.給水費
関連計画					受託水道事業特別会計	事項	給水事業費				
					補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 これまで取り組んできた配水管の耐震化に加え、大口径給水管の耐震化を図り、管路全体の耐震性を向上させる。

概要 配水小管から宅地内メータまでの75mm以上の給水管のうち、耐震強度の劣る普通鋳鉄管などをより強度の高いダクタイル鋳鉄管に布設替える。なお、本事業とともに、経年管(配水管)取替事業においても、大口径給水管の布設替えを進め、平成23年度末までに残存率を0%にする。

始期 19 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0 人 または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて、継続事業の場合記入)

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

10か所の大口径給水管の耐震化を図る。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

年度計画の100%実施を目指す。なお、このほかに、経年配水管の布設替えに合わせた、大口径給水管の耐震化工事も行う。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H17年度	H18年度	H19年度目標	H19年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)			10か所の取り替え	6か所の取り替え
まちづくり 指標(成果 指標) 行政指標 協働指標			年度計画の100%実施	年度計画の60%実施
予算額(千円)			15,019	12,819
決算額(千円)				12,548
執行率(%)				97.9%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		← 設計期間 →					← 施工期間 →						
結果		← 設計期間 →					← 施工期間 →						

当初計画変更の内容・理由等 (進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.	705	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上	部内管理事業	水道部
-------	-----	-----	----------------------	--------	-----

(事業の中間評価)

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
大口径給水管の取り替え対象箇所について、東京都水道局の基本的な考えが変更になり、配水管整備との連携を図ることとなったため、当初の全体計画34か所から15か所に減少となった。平成19年度は10か所が7か所に変更予定であり、1か所は施工済で、その他については設計中である。なお、平成20年度は残り8か所を予定しているが、今後の対象範囲の拡大については東京都水道局と協議中である。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	2 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 前年度と同程度の箇所数であり、コストは前年度並みである。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 配水管取替えの中でも給水管の耐震化を進めることから、成果は増加する。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については委託済である。
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成19年度の取り組みに対する意見)	評価を踏まえ予算化に努める。

(事業の事後評価)

主管課事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	2 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	平成19年4月、東京都水道局からの通知により当該事業の対象範囲が変更となった。このことを受け、対象となる給水管の見直しを行い、当初の10か所を7か所としたところであるが、他工事との調整の結果、工事内容が変更になった箇所があり、予定工事費用が大幅に上回ったことで、6か所の施工となった。未施工となった1か所については、次年度に行う予定である。現在、東京都水道局と対象範囲の拡大について協議を進めているところであるが、この結果も踏まえ、本事業は平成21年度の完了を目指し実施していく。	
審査会評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 2 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見)	